

# DAIGO

— 議会だより —

2025年

11月号

NO.223

未来の  
苗を植樹

みんな  
で育む  
豊かな  
郷土の  
森



## Contents

2-4P 令和7年第3回定例会・臨時会  
5-6P 予算・決算委員会（決算審査）  
7-9P 議員活動報告・つぶやき議長  
10-11P 特集「職場体験」

12P <sup>とき</sup> あん議会の質問は今？！  
13-20P 一般質問  
21P 議会だより、次の一歩へ  
22P 「わくわくわたしの夢」

令和7年11月5日発行  
茨城県大子町議会

## 令和7年 第3回定例会

# AI乗合タクシー運行業務委託料などの補正予算を可決！

令和7年第3回定例会が9月3日から12日までの10日間の会期で開催されました。

今回の議会では、AI乗合タクシー運行業務委託料などの補正予算や令和6年度の決算認定を含む町長提出の議案が18件、報告2件、委員会報告2件、議員提出議案1件が審議され、すべての議案が可決されました。

一般質問では、7名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。



## 一般会計補正予算（第5号）の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	5450万3千円
県支出金	3185万4千円

歳 出	補 正 額
A I 乗合タクシー運行業務委託料 →利用者の増加に伴い車両を増車します。	1841万2千円
斎場火葬棟待合室バリアフリー化事業 →待合室（1室）をバリアフリー化します。	665万3千円
急速充電設備設置事業 →町営駐車場に電気自動車の急速充電設備を設置します。	858万5千円
袋田観瀑施設吊橋付近落石防護柵改修工事 →古い落石防止柵を新しくします。	1367万円

## 第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果	議案番号	議 案 名	結 果
報告7号	令和6年度大子町一般会計継続費の精算報告について	報告済	議案第83号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第80号	大子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	議案第84号	令和7年度大子町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第81号	大子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	議案第85号	令和7年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第82号	大子町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	議案第86号	令和7年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決



議案番号	議 案 名	結 果	議案番号	議 案 名	結 果
議案第87号	令和7年度大子町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議案第93号	令和6年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※
議案第88号	令和7年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議案第94号	令和6年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※
議案第89号	令和7年度大子町浄化槽整備事業会計補正予算(第1号)	原案可決	議案第95号	令和6年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※
議案第90号	令和7年度大子町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	議案第96号	令和6年度大子町浄化槽整備事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び原案認定
委員会報告第2号	常任委員会審査報告(予算・決算委員会)	原案可決	議案第97号	令和6年度大子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び原案認定
議案第91号	令和6年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※	委員会報告第3号	常任委員会審査報告(文教厚生委員会)	原案可決
議案第92号	令和6年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※	議員提出議案第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	原案可決

※は賛否がわかれた議案

## 議案の賛否状況

採決にあたり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議 案 番 号	議 案 名	賛否数		議 員 名										
		賛成	反対	介川秀男	高村和成	根本厚子	飯村剛	川井正人	福田祥江	須藤明	菊池靖一	佐藤正弘	大森勝夫	齋藤忠一
91号	令和6年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
92号	令和6年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
93号	令和6年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
94号	令和6年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
95号	令和6年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○

※○＝賛成、×＝反対、—＝議長（大森勝夫議長）は採決に加わりません

## 反対討論〔一般会計〕

令和6年度一般会計の不用額は6億1064万円と依然として大きな額である。このことは、予算の策定にあたって、綿密な精査や検討が不十分であったことに他ならない。

また、年度末の財政調整基金は15億円、減債基金も11億円と多額に上る。これらの不用額や基金の一部を活用すれば、少子・高齢化対策、福祉、医療、教育、また町民の生活や暮らしの向上のための様々な施策や事業に活かせるはずである。

土木費の住宅リフォーム助成費、総務費のタクシー利用助成制度やプレミアム商品券発行事業など、一定の評価をするが、少子・高齢化、地域の現状を見るとさらなる充実が求められる。一方で、農業費、観光費など、多額の支出があったにもかかわらず、効果が疑問なものもある。効果の検証が必要である。

以上のことから、不用額、事業の効果、公平性、財政調整基金等のあり方から見て、この決算に問題があることは明らかであり、反対を表明する。  
(一部抜粋)

第3回臨時会が7月2日に開催され、町長提出議案5件（うち承認1件）について、すべての議案が全会一致で可決されました。

## 第3回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第75号	令和7年度大子町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第76号	中心市街地排水処理施設整備工事（3工区）変更請負契約契約の締結について	原案可決
議案第77号	中心市街地排水処理施設整備工事（4工区）変更請負契約契約の締結について	原案可決
議案第78号	令和7年度大子町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第79号	令和7年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決

## 人権擁護委員候補者に益子真一<sup>ましこしんいち</sup>さんを推薦

人権擁護委員の菊池達男さんが、令和7年6月30日で任期満了となるため、その後任は益子真一<sup>ましこしんいち</sup>さんが適任として決定しました。任期は令和8年1月1日から令和10年12月31日までです。

## 請願に対する結果報告

この請願の主旨は、教員の働き方改革と義務教育の質向上を実現するため、教職員の定数を増やすとともに、国が財政的な責任を引き続き担うことで、自治体が改革を実効的に進められるよう求める内容のものです。

請願・陳情等名	請願・陳情等者	付託委員会	結 果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	水戸市笠原町 茨城教育会館2F 茨城県教職員組合 代表 井坂 功一 ほか76名	文教厚生委員会	採 択

※採択された請願・陳情等は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁等に意見書を提出しました。

### 請願とは？

皆さんの「こうしてほしい」という願いや意見を、町議会に直接届ける制度です。提出には議員の紹介が必要で、提出された請願は、議会の中でその内容が議論され採否が決定します。採択された場合は、議会はその実現に向けて町や国に働きかけます。





## 令和 6 年度歳入歳出決算の認定について

令和 6 年度における予算執行の歳入歳出決算の認定については、予算・決算委員会※に付託され 2 日間にわたり審査が行われました。審査の結果、一般会計の主な事業や特別会計、浄化槽事業会計・水道事業会計の決算（町長提出議案 84 号から第 90 号まで）について原案のとおりに認定しました。

### 一般会計歳入決算

**119億1726万9千円**

（前年度比：17億135万円減 12.5%減↓）

### 一般会計歳出決算

**108億6726万4千円**

（前年度比：13億5064万5千円減 11.1%減↓）

一般会計及び特別会計の決算額は次のとおりです。

## 令和 6 年度 一般・特別・水道事業会計決算

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
一 般		119億1726万9千円	108億6726万4千円
特別会計	国民健康保険事業	22億5736万6千円	21億1877万3千円
	後期高齢者医療	3億441万4千円	2億9384万3千円
	介護保険	26億7955万7千円	24億6915万9千円
	介護サービス事業	1300万7千円	1300万7千円
浄化槽整備事業	総収益・総費用	7619万1千円	6843万9千円
水道事業会計	総収益・総費用	4億4578万5千円	4億3904万4千円



### 予算・決算委員会とは？

町が令和 6 年度中に実施したすべての事業に対して、どのように予算が使われたのかを審査する委員会のことで、今後の事業執行につなげてもらうための重要な役割を担っています。

# 予算・決算委員会での主な質疑

一般会計決算認定 ※一部を抜粋して掲載しています。

**問** 古民家レストラン期間限定運営事業の内容と入込客の実績は？

**答** 10月18日から11月17日までのうち、19日間古民家レストラン運営とウォークラリーを実施した。入込客は435名でウォークラリーは89名の参加があった。  
(まちづくり課)

**問** 食を活用した戦略的プロモーション事業の実施した内容は？

**答** 大子町の特産品を首都圏の方々向けにPRしていくプロモーション事業である。9月14日、15日の2日間で世田谷区のボーナストラックに生産者と出店し主要な特産品のPRを実施した。  
(まちづくり課)

**問** 経済産業省関東経済産業局との連携事業の内容と実績は？

**答** 関東経済産業局、商工会と連携し視察研修の実施、eコマース（ネット通販）などの販路開拓の勉強会等の開催、空き店舗等活用事業として駅前商店街活性化戦略の策定など国庫補助を活用して実施した。  
(観光商工課)

**問** 中小企業者経営改善・創業等支援補助金が前年度より増額となった理由は？

**答** 省エネ化の取組、販路開拓、生産性向上などの設備投資や創業支援、事業承継など需要が多かったことから補正予算で増額し対応した。  
(観光商工課)

## ■ 予算・決算委員長総括



予算・決算委員長  
菊池 靖一

令和7年度の予算・決算委員会では、令和6年度の一般会計及び特別会計等の幅広い分野にわたり、町の財政運営の透明性と効率性を重視し、各事業の成果と課題を丁寧に検証しました。

委員会では、監査委員から令和6年度決算審査結果報告を受け、その意見も参考にしながら決算書を元に、町民の皆さまの暮らしに直結する施策が適切に実施されているかを質疑によって確認しました。

特に、町の将来を見据えた取組みに対して

は、まちづくり課や観光商工課に委員からの質問が集中する場面もありました。決算を見るうえでは、予算との違いも重要なポイントなので不用額や事業の効果についても多くの質疑が行われています。熱心さのあまり審査を逸脱する質問がでることもあり、注意する場面もありました。

委員会は終始、建設的かつ真摯な質疑が行われ町民の声を反映した予算執行のあり方を探る場となりました。質疑終了後、付託された案件について、議員のみで採決を行い賛成多数により採択すべきものと決定しました。

今後も町民の皆さまに開かれた議会運営を目指し、より分かりやすい情報発信に努めて参ります。



# 議員の活動報告します！

8月、9月、10月は主に次のような議員活動を行いました。

- |     |   |
|-----|---|
| 8月  | <ul style="list-style-type: none"><li>・議会だより NO.222号 発行（広報委員）</li><li>・常任委員会合同研修会（総務経済委員会・文教厚生委員会）</li><li>・定例全員協議会（全議員）</li><li>・議会運営委員会及び全員協議会（議会運営委員・全議員）</li><li>・町村議会広報研修会（広報委員）</li></ul>                                   |
| 9月  | <ul style="list-style-type: none"><li>・第3回定例会（9月3日から12日まで）</li><li>・決算審査（予算・決算委員会）</li><li>・議会運営委員会研修会（各議員）</li></ul>   |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"><li>・区長会との議員と話そう会（全議員）</li><li>・次世代につなぐ森林づくり（林活議連）</li><li>・定例全員協議会（全議員）</li><li>・熊本県南阿蘇村議会来庁（議長）</li><li>・議会運営委員会及び全員協議会（議会運営委員・全議員）</li><li>・第4回臨時会（全員協議会）</li><li>・山形県白鷹町議会来庁（各議員）</li></ul> |

町のこと、世の中のことなど、日々のちょっとした出来事や感じたことを議長がゆるっと“つぶやく”コーナーです。真面目な話だけでなく、ちょっと笑えるひと言もあるかも？！ぜひ、ご一読ください。

## 東京世界陸上での感涙

まだ酷暑の残る東京で世界陸上が開催された。日本人選手への細やかなインタビューができるのも国内開催の利点だ。

ある選手の言葉が心に残った。110Mハードルの村竹ラシッド選手である。日本人では勝てないと言われ続けた競技種目で、今季世界2位のタイムを記録しメダル獲得への期待が高まった。結果は100分の1秒台に数名が並走する激戦になり僅差の5位。メダルは逃したが入賞を果たした。

インタビューエリアに村竹選手がうつむき加減で立つ。惜敗を受け入れ難そうな呆然とした表情を浮かべる彼に、とりなすように「5位入賞おめでとございます。お気持ちをお聞かせください。」とマイクを向けた。次の瞬間、こらえてい

## 連載

## つぶやき議長

大森勝夫

た彼の感情が堰を切った。

「何が足りなかったのだろうか？何が間違っていたのだろうか？」と簡潔な自問を繰り返す。メダル獲得にすべてを懸け、厳しい訓練を乗り越えた男の万感の思いを伝えるのにそれで充分だった。彼は号泣した。

「東京でこの大会が開催されることは知っていたのでパリオリンピックを終えると目標に据えました。一人のアスリートとして光栄すぎるほどの応援をたくさん戴きました。だから私がメダルを獲って、みんなと共に喜びを分かち合いたかったのです。」自分の名誉ではなく、多くの日本人を喜ばせたかったと語る彼の精神に、公共性を重んじた日本人の美徳を感じ、もらい泣きしました。彼の魂に、議員が見習う精神を垣間見た気がしたのです。

## ピックアップ

### ■県北中央町村議会議長会議員研修会

7月11日、県北中央町村議会議長会主催による議員研修会が水戸市（水戸プラザホテル）で開催され議員全員で参加しました。

今回の研修会は、茨城県土木部の方が講師として『災害復旧と最近の取組みについて』をテーマに近年の災害や復旧事業、気候変動を踏まえた取組などを学んできました。



### ■常任委員会自主研修

8月27日、常任委員会の自主研修で株式会社エヌジェーピー執行役員キャリアマネージャーの塚田薫氏を講師にお招きし研修を行いました。

大子町出身で元学校長の塚田講師による大子町の産業振興発展、児童生徒のキャリア教育についてご講義いただきました。魅力的で持続可能な大子町を築いていくための考えや行動を改めて考えさせられ、現在の技術についても学ばせていただいた実りある研修でした。



### ■町村議会広報研修会

8月28日、全国町村議会議長会主催による「広報研修会」が東京都渋谷区（LINE CUBE SHIBUYA）で開催され広報委員が参加しました。

この研修会は、議会広報の発展に資することを目的に開催されたもので、議会広報を担当する議員が全国から参加しました。

大子町議会からは広報委員7名が出席して、読まれる広報紙の作り方などを学んできました。





## 💡 ピックアップ

### ■議員と話そう会

10月16日に大子町区長会との議員と話そう会を実施しました。

参加いただいた区長からは各地域での現状や抱えている悩み事だけでなく、大子町全体として取り組むべきことや町の将来について意見交換が行われました。厳しいご意見もいただきつつ、現在検討している活動についても賛同をいただきました。今後の議員ひとりひとりの活動や資質向上へ繋げていきたいと思います。



### ■次世代につなぐ森林づくり

10月22日、大子町池田地内において「次世代につなぐ森づくり」として、昨年に引き続き植樹イベントが開催され、各議員で参加しました。

当日は大子中学校2学年の生徒も参加し、苗木の植樹、ドローンによる苗木運搬及び高性能林業機械（ハーベスタ）による伐採・造材の実演が行われました。

森林資源の持続性を保ち、次世代につなぐ大切な森林を育てるために、『切って、木材を利用し、また、植えて、育てる』の循環型林業と本活動を支援・推進していきます。



### ■大子町へようこそ！（行政視察）

茨城県外の市町村議会からお問い合わせいただき行政視察を受け入れました。

当日は、大森議長が出席して歓迎のあいさつや説明を行いました。

5月から9月までの間に3市町村の議会議員の方々にご訪問いただきましたので紹介します。

#### ○三重県伊賀市議会

（総務常任委員会）

7名

【視察概要】

・AI乗合タクシーたくまるについて



#### ○宮城県大衡村議会

（産業常任委員会、議長）

5名

【視察概要】

・学力向上について



#### ○北海道当別町議会

（会派：緑風会）

3名

【視察概要】

・新庁舎について





## 議会事務局 職場体験

7月28日29日の2日間、大子中学校2学年の生徒2人（小林茜音さん、菊池芽依さん）が議会事務局へ職場体験に来てくれました。2人には議会についてや議会事務局の仕事についてを学んでもらい、議会だより用に写真撮影やレポートを作成してもらいました。原文そのままを掲載しておりますので是非ご覧ください。

### 大子町議会についての説明

#### 【小林さん】

大子町議会はあまり身近に感じられず、ぼんやりとしたイメージだったけれど、議員さんたちがしっかりと町の人達の声を聞いて町のために活動していることがわかりました。

#### 【菊池さん】

議会の説明を聞いて、議員がどのような仕事をするのか、委員会ではどんな活動をしているのか、大子をより良い町にするためにどんな工夫をしているのかについて詳しく知ることができました。



### 庁舎内探検

#### 【小林さん】

議場、議会ホール棟と行政棟をまわり各課について具体的な業務内容やふれあいホール、待合ラウンジ、ブックラウンジ、議会図書の説明も聞きました。

#### 【菊池さん】

私は、役場に数回程度しか来たことがなく、中がどのようなになっているのかがあまり理解していませんでした。ですが今回の探検で、役場にどんな課があるのか、どのような仕事をしているのか、課以外にも勉強などができるスペースがあることをしり、役場の中がどのようなになっているのかを今回の探検でちゃんと知ることができました。



議会図書

### 議会だよりの説明

#### 【小林さん】

定例会から2ヶ月の間で一般質問の応答を言葉の意味合いが変わらないか、情報に誤りはないか確認しながら要約し1ページ1ページ丁寧に作られていく議会だよりはたくさんの方が関わり合って完成することがわかりました。

#### 【菊池さん】

私は、議会だよりの制作はすぐに終わるものだと思っていたけど、議員の人たちやいろいろな人の手間がかかって読み手が読みやすいような議会だよりを作っていて大変だなと思いました。



広報委員による説明



## インタビューコーナー

## 大子町議会 大森勝夫議長

**Q** 大子町議会の議員に立候補したきっかけはなんですか？

**A** 自分の子供が大人になったときに活力のある大子町をのこしたいと思ったからです。

**Q** 議員としての初仕事はどんなことですか？

**A** 地域ごとの活力を保持する、子育て世帯を支援するための町営住宅を整備するという提案です。そして地域の人たちのどうにかしてほしいという声だけでなく、問題解決できるような考えを議会に届けることが議員の仕事だと思っています。

**Q** 一番やりがいがある仕事はなんですか？

**A** 議員の仕事全般にやりがいを感じています。

**Q** 中学生のときはどんなタイプの子でしたか？

**A** 元気で何をやっても目立つような子だったと思います（笑）。

**Q** 議会だよりを読んでいる皆さんに一言お願いします。

**A** 紙面ではなく、実際に会って議会のみんなとお話しましょう！



## 職場体験の感想

実際に議会の運営に携わっている議会事務局の方や議員さんのお話を聞いて地域のために日々尽力されているんだなと思いました。議会事務局の仕事は議会の準備から広報活動、予算の執行まで幅広く議会を運営する上で重要だと感じました。  
(小林茜音さん)

今回の職場体験で、前まで知らなかった議会や役場のことをたくさん知ることができました。議会では、どのようなことをしているのか、議員や議会事務局の方はどんな仕事をしているのか、議会だよりを作るときに誤った情報や誤字脱字がないかなど、たくさんの訂正をしながら作っていて、手間がたくさんかかっていることがわかりました。議会のこと以外にも役場の中を探索し、どんな課があるか、どんな仕事をしているかなどいろいろなことを教えてくれました。  
(菊池芽依さん)



菊池芽依さん 小林茜音さん

小林さん、菊池さん、2日間お疲れ様でした。

議会のこと、議会だよりのことなどを理解してもらい、より身近に感じてもらえたことは大変嬉しく思います。お二人にとっての「気づき」は広報委員や議員にとっての「原点」です。これからも読みやすい広報紙づくりに努め、議会活動を報告していきます。

# あん議会の質問は今？！

議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているかお知らせするコーナーです。

今回は少子化対策のひとつ「婚活施策」についてです。令和7年第2回定例会の一般質問で取上げ、その後の展開についてお伝えします。

## 【あん議会の質問】

**議員**：太子町の未婚率は県内平均よりも高い。未婚率改善のため婚活施策が重要だが現状は。

## 【そん時の回答】

**執行部**：婚活支援ネットワークの女性の登録者数が少ない。組織の活性化と新たな事業展開も必要と感じる。

## 婚活オンラインセミナーの開催



出会いの質を変えるプロフィールの作り方をSNS・恋愛・ブランディングのそれぞれの視点で女性プロ講師から学ぶオンライン（Zoom）で開催されたセミナーです。

特徴的なのは、

- 匿名で顔出しなし：プライバシーが守られ、安心して参加できる。
- 発言なし：聞くだけでよく、コミュニケーションに自信がない方でも気軽に参加できる。

「新しい婚活」は、  
安心・匿名性で  
踏み出す「一歩」  
を後押し

議会での質問が後押し  
となってタイムリーな  
事業展開に繋がったね





## 令和7年第3回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

## 7名の議員が一般質問

ページ	質 問 者	質 問 内 容
P.14	高村 和成 議員	商店街以外での空き店舗支援は サテライトオフィス支援事業の現状は 観光業の活性化と特産品の販路拡大は
P.15	福田 祥江 議員	教育支援センターへの給食配送は 抹茶製造に関する調査に対する町の考えは ブレスト・アウェアネスの啓発を
P.16	飯村 剛 議員	廃校舎を活用した企業誘致は 地域の財産を守る為には維持管理が必要では 吉成邸の成功で古民家魅力発信の拡充を
P.17	佐藤 正弘 議員	町道の補修、整備は 特産品の楮、漆に対する町の支援は 歴史、文化遺産を後世に伝える取組は 高齢化社会における生活環境整備は 高齢者世帯等へのエアコン設置費用助成は
P.18	介川 秀男 議員	町の熱中症対策は 中学生スクールバスでの登下校体制は 町職員の現状は
P.19	川井 正人 議員	空き家対策の取組は 町営研修センターの利用状況は 熱中症対策は
P.20	菊池 靖一 議員	福祉作業所の作業環境改善を 木質バイオマスガス化発電施設の稼働と契約は ポイ捨て等防止条例施行後の取組は

## 一般質問とは・・・

「一般質問」とは、議員が町の課題や町民の声をもとに、町長や担当課に直接質問をする場のことです。町の考えや方針を確認し、改善や取組へとつなげていく大切な機会です。

- ・ 町民の声や町の課題を取り上げる
- ・ 町政の考えや方針を確認する
- ・ 改善や新しい施策を提案する など



## おうちで議会を視聴しよう！

大子町議会は、スマートフォンで議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご覧になってください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



## 問 商店街以外での空き店舗支援は

## 答 今後調査・研究を行う考えである



高村和成 議員

【観光商工課長】一年によるばらつきはあるが、年々申請件数は増加傾向にある。今年度においてもすでに10件以上の相談がある。前年度の実績としては、創業・事業継承・新規出店含め21件の申請があった。

【高村】現在、町内企業への支援策として「経営改善・創業等支援補助」がある。申請も比較的容易でとても助かると思える意見もあるが、利用状況や対象業種はどうなっているのか。

【高村】これとは別に「商店街空き店舗等活用支援事業」があるが、申請件数はどうか。

【観光商工課長】JR常陸大子駅前の商店周辺になるが、空き店舗バンクに8件の物件が登録されている。補助の活用件数についてはこれまで10件の実績があり、空き店舗活用の支援を行っている。

## サテライトオフィス支援事業の現状は

【高村】企業誘致の推進の一つとして「サテライトオフィス等支援事業」があるが、利用実績はどうか。

【まちづくり課長】補助の実績は令和3年から令和7年度現在で継続申請含め6件となっている。

【高村】この補助を活用した企業は実績報告を上げる義務があるが、活用後の報告規定はどうなっているか。

【まちづくり課長】実績として、町内で製造されている日本酒が海外の展示会などで高い評価を受けており、実際に海外へ出向いて販売も行っている。また、6次製品化したもの、加工品の輸出なども様々な事業者が検討をしている状況である。今後も町として輸出へ向けた支援や県内外の商談会を今年度開催する予定である。

## 観光業の活性化と特産品の販路拡大は

【高村】大子町の観光業活性化と特産品の流通拡大について、どのような施策をしているか。

【観光商工課長】大子町では観光PRの取り組みとして、パンフレット配布や観光案内、SNSの活用も重視しているところである。また、県南からの来町者が非常に多いため県内でのPRも積極的に進めていく。

【高村】今現在でも外国からの来日数は高い水準を維持している中で、日本の「食」に関しても高い人気がある。大子町にも誇れる



茨城県大子町

サテライトオフィス誘致



## 問 教育支援センターへの給食配送は

## 答 実証実験を行った後に判断する



福田祥江 議員

ーで給食を食べられるようにできないか。

【教育委員会事務局長】 コンテナを直接下ろせる場所がない、児童・生徒が食べる30分前までに検食しないとならない、事前注文が必要になる、欠席の場合は食品ロスになるなどの課題があるが、今年の秋に2週間程度の実証実験をして判断していきたい。

【福田】 食品ロスと言ったが、通室生の給食は学校に配食されており、学校に行けない場合は廃棄されているの

【福田】 食料品ロスと言ったが、通室生の給食は学校に配食されており、学校に行けない場合は廃棄されているの



抹茶人気により輸出量が増えています

ではないか。

【教育委員会事務局長】 学校に行けば食べられる状況になっていくので、欠席したり、支援センターに通室したりした場合は廃棄処分になる。

【福田】 実証実験後、どれくらいで結論を出すのか。

【教育委員会事務局長】 検証する時間が必要で、現段階では明確には言えない。

## 抹茶製造に関する調査に対する町の考えは

【福田】 農林水産省は農林水産物食品輸出拡大実践戦略において、輸出重点品目にお茶を選定している。海外での抹茶ブームにより輸出額は年々増加し、令和5年、抹茶の原料と

なるてん茶の生産量は過去最高となり、平均単価も煎茶の倍以上になっている。

茶業の将来を考えた時に、個人事業者には難しいと思われる抹茶製造に関する調査を町で行っていく必要があるのではないか。

【農林課長】 現在、奥久慈茶業組合では粉末茶について研究を進めている。今後、県や関係機関と連携を図りながら、生産者団体など意見交換をしていく中で、機運や導入の可能性が高まってきた場合には調査研究を進めていきたい。

## ブレスト・アウェアネスの啓発を

【福田】 令和3年に乳がんの診断されたのは9万9449例であり、女性ががんの1位である。

未来の自分への思いやり  
**ブレスト・アウェアネス**  
って知っていますか？

ブレスト・アウェアネスとは、自分から自分の乳房の健康に関心を持ち、「意識しながら生活を送る」こと。乳腺から自分の乳房をチェックし、健康を気づくこと。乳がんの早期発見につながります。

ブレスト・アウェアネスの4つの基本行動

- 1 見て、触って自分の乳房の状態を知る  
乳房健康チェック  
①鏡の前で「見て」チェック  
②真横に「触って」チェック
- 2 しこりや乳頭分泌など乳房の変化に早く気づく  
下記のような症状がないかチェックしましょう。  
①乳房の硬さの下りり  
②乳首からの分泌物  
③皮膚のひびき・くぼみ・たれ
- 3 乳房の変化に気付いたらすぐに医療機関へ行く  
乳房の変化を自覚した場合は、次の検診を待たずに、医療機関を受診しましょう。
- 4 定期的に乳がん検診を受診する  
乳がんは40代から発症が増えます。40歳を過ぎたら、定期的に検診を受診しましょう。

日本人女性の9人に1人が乳がんになっています

リスクは9人に1人である。早期発見すれば治る可能性が90%以上である。近年、推奨されているブレスト・アウェアネスがある。乳がんは若い年代でも罹患する。育児で忙しい年代、検診が行われていない30歳未満にも啓発できないか。

【健康こども政策課長】 広報媒体等を活用しながら、3歳児健診の保護者、保育所等の保護者に対して予防啓発に努めていく。

※ブレスト・アウェアネスとは、乳房の健康を意識する生活習慣のことです。

## 問 廃校舎を利用した企業誘致は

## 答 地域間の合意形成が必要である



飯村 剛 議員

を誘致してもらうための対策とは。

【まちづくり課長】 地域間とのミスマッチが生じないように事前に説明や議論を通して理解と合意が必要と考えてる。

【飯村】 誘致に対して町の

アプローチ方法など施策は。

【まちづくり課長】 支援の補助事業では企業誘致優遇支援制度を整備し、企業からの要望にワンストップサービス体制で対応している。また、町長自ら先頭でトップセールスを行っている。

【まちづくり課長】 地域経済の活性化と雇用の創出である。地域住民と連携した事業を行うなど、にぎわいの創出の資する用途として最大限に地域資源を活用し共生を模索している企業である。観光業や食品加工業、飲食業、サテライト拠点などを期待している。

【飯村】 しっかりした企業

地域の財産を守る為には維持管理が必要では

【飯村】 廃校の校庭は活用が少ないため雑草が茂ってきているが、除草作業は行のか。



企業誘致は地域間の合意形成が必須

吉成邸の成功で古民家魅力発信の拡充を

【飯村】 古民家を活用した飲食店事業「だいご茶房」の実施による効果は。

【まちづくり課長】 連携協定を締結している株式会社さとゆめと実証実験を計5回行ってきた。毎回利用者の満足度は高く町内外から好評で、町の知名度向上にも貢献していると感じている。また、食事を取るだけでなく提供された食材の生産者の元へ訪問して購入して行くなど経済効果も生まれている。

【飯村】 好評であったメニューを町内の飲食店で提供して誘客に取り組めないか。

【まちづくり課長】 品質のばらつきや古民家活用事業としてのプランの希薄化を招く恐れがあるので想定は

### 「古民家活用プロジェクト」茨城県大子町

さとゆめ



古民家魅力の発信拡充を望む

していない。吉成邸周辺の立地条件は決して良好とはまでは言えないが、食材の持つストーリー性の発信により、お客を呼び込めるブランディング化を、町内の事業者にも参考にしてもらいたいと考えている。

【飯村】 今後の新たな計画はあるのか。

【まちづくり課長】 引き続き、株式会社さとゆめと地域の皆さんと更に事業を磨き上げ、行政ではなく、民間事業者による自走化を目指していきたい。また、宿泊事業の展開などへも実現化に向けて注力していきたい。



## 問 町道の補修、整備は

**答** 道路舗装維持管理計画の策定を進めている



佐藤正弘 議員

【佐藤】町道が狭く、アスファルトが剥がれて交通に支障をきたしている町道もある。町道の補修、整備について町の考えは。

【建設課長】皆様の通報、パトロールで規模の小さいのは建設課で、規模が大きいものは民間業者に依頼している。現在、道路舗装維持管理計画の策定を進めているところであり、当該計画を策定し、優先度を決めた上で、限られた予算の中で計画的に道路の整備や維持補修などを行っていく考えである。



改修整備が求められる町道

【佐藤】小さな集落で、町に声が届いてない所があるのではないのか。人口の少ない所でも長期的にそのまましておくのではなく、地域の声を取り上げるべきと思うが。

【建設課長】行政連絡班長や地元から連絡をいただいた部分に関して、ただちに建設課で補修を行っており、小さい、大きいに関係なく補修を行っている。

## 特産品の楮、漆に 対する町の支援は

【佐藤】大子那須楮、漆は国内外でも高い評価を得ている。特産品の楮、漆に対し、補助金を支出しているが少なすぎる。抜本的な支援を検討すべきと思うが町の考えは。

【農林課長】大子那須楮に対し、運営費補助、文化庁による支援事業補助金などが交付されている。漆については、大子漆保存会の会員が実施する生産活動に対する事業補助、茨城県による、うるし生産体制整備事業補助金、会の事務局を町が担い、運営費を補助している。町単独では財源に限がある。県への要望を加え、活用可能な国の施策についても研究するなど、新たな財源確保に取り組む考えである。

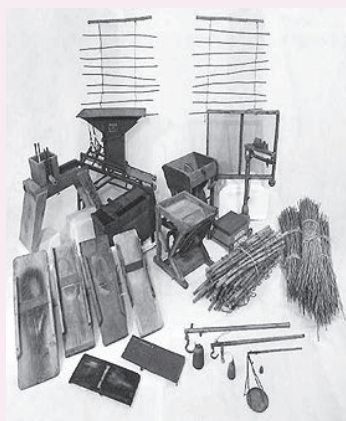
【佐藤】国、県への要望も大切だが、町自体がもっと力を入れていく必要がある。その点については。

【農林課長】高齢化や担い手不足など金銭的な補助だけでなく、国全体の課題でもある。国、県、関係団体の意見をいただき、より良い形にしていきたい。

## 歴史、文化遺産を後 世に伝える取組は

【佐藤】遺跡から発掘された土器、化石、農業遺産等の文化財が保存されている。先人の遺物等を一か所に集め、整理し、町民に公開すべきであると思うが町の考えは。

【教育委員会事務局長】町が保管している文化財は、宮川コミュニティセンター、旧下野宮小学校、中央公民館で保管している。一般公開できる施設については、財源、維持管理等を考えると、困難な状況である。



国登録有形民俗文化財  
（「大子町の文化財」参照）

【佐藤】古文書、化石、土器など明確に整理されているのか。

【教育委員会事務局長】明確な管理の定義が解らないが必要な部分の管理及び収集整理については行っていると認識している。

【佐藤】すぐに、一般公開できるように整理されているのか。

【教育委員会事務局長】展示するにあたっては、展示する形、説明文、ケースなど細かい作業が必要になると考える。

## その他の質問

高齢化社会における生活環境整備は  
高齢者世帯等へのエアコン設置費用助成は



## 問 町の熱中症対策は

【答】ホームページ・SNSなどで熱中症注意喚起を行っている



介川秀男 議員

【介川】今年の夏も記録づくめの異常な暑さの夏となったが、今年度町内で熱中症にかかり救急搬送された方がどれくらいいたのか。

【消防長】 4月1日から8月31日までで、熱中症搬送

件数は26名となっている。

【介川】 救急搬送された方の熱中症発症場所の内訳と、年代別内訳は。

【消防長】 屋内での発症は11名で、屋外での発症は15名である。年代別内訳としては、18歳未満搬送無し、18歳以上65歳未満の搬送は6名、65歳以上の搬送は20名となっている。

【介川】 高齢者の方々の



続く暑さ、命を守る対策を

中には電気代節約への意識が高く、エアコンの使用を控える方も多いと聞く。電気代高騰への対応も含めて支援が

必要であると思うが、町の考えは。

【財政課長】 住民税非課税の独り暮らしの高齢者の方で積算した場合、敬老祝金5000円、低所得者世帯支援分3万円を給付し、水道料金は7000円を減免しており約4万2000円の支援を行っている。

## 中学生スクールバスでの登下校体制は

【介川】 中学校スクールバスでの登下校体制であるが、閉校した中学校区以外の方から生徒の送迎が負担となっているのでスクールバスを利用できないかとの意見もある。町の考えは。

【教育委員会事務局長】 スクールバスの利用について特別な事情がある場合、保

護者がスクールバス利用承認申請書を提出、教育委員会から乗車証が交付され利用が可能となる。これまでにこの件の相談は無いが、相談があれば総合的かつ適切に判断をしていく。

## 町職員の現状は

【介川】 全国的にも地方自治体の職員が集まらなくなっており、若手世代の離職も増えている統計も出ている。町の職員の現状について、近年5年間の町職員の受験状況と採用状況は。

【総務課長】 5年間の状況

としては、毎年50人から80人の応募があり9人から14人程度の職員を採用している。

【介川】 30歳以下の若手職員の自己都合による退職率は。

【総務課長】 令和2年度と令和6年度については30歳以下の離職者はいない。この5年間の若年層の離職率は年平均約28%であり、全国における若年層の離職率と比較しても町職員の離職率は高い水準ではないものと考えている。



行政を支える職員体制は

## 問 空き家対策の取組は

## 答 適正管理と活用を推進している



川井正人 議員

〔川井〕 近年深刻化している放置空き家問題は、空き家の発生予防と活用促進との両面からの対策が急務である。そこで町が把握している空き家数は、

〔生活環境課長〕 総務省の

令和5年住宅・土地統計調査では、当町の空き家の総数は1420戸、総住宅数7380戸に対する割合は19.24%となっている。また空き家のうち賃貸、売却用及び2次の住宅を除く空き家数は1160戸で総住宅数に対する割合は15.72%で、高い水準で使用目的のない空き家が存在している。

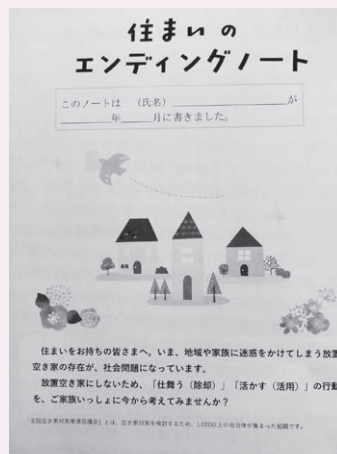
〔川井〕 現時点では管理不全空き家等及び特定空き家等の認定も指導・勧告も無い

対策は。

〔生活環境課長〕 第2次大子町空き家等対策計画では基本姿勢として空き家等の発生抑制と適切な管理、空き家の利活用の促進、管理不全状態にある空き家等の抑制と解消を掲げている。そういった中で適正な管理を促す通知等をしている。また、令和7年度からは固定資産税の納税通知書に同封するチラシに適切な管理が不可欠である事、そして空き家の有効活用を含めた所有者等への周知を図った。また、空き家バンクリフォーム助成金、空き家の片付け支援補助金の案内を行った。

状況であるが今後、空き家が放置されればいずれ行政処置を受けるリスクにつながる。そこで、町が行っている放置空き家

### 空き家対策の取組事例 (国交省資料参照)



〔川井〕 空き家になる前の対策として住宅エンディングノートを活用した事例がある。住宅エンディングノート等の活用を導入する

考えはあるか。

〔生活環境課長〕 国土交通省で公開している住まいのエンディングノートは内容が非常に分かりやすく充実している。今後、相談会等に必要に応じて資料を提供し、町のホームページ等からも情報が得られるような対応を考えていきたい。

## 町営研修センターの利用状況は

〔川井〕 インバウンド対応として町営研修センターの外国人の利用は可能なのか、また、利用があるのか。

〔まちづくり課長〕 外国人の利用は、令和6年度には32名、今年度8月末時点では6名が利用。外国人の利用に特に制限は設けていないが、学校の教育活動や各種研修が目的で、その範囲であれば利用が可能である。

## 熱中症対策は

〔川井〕 熱中症対策として庁舎や学校施設等に無料で給水できるウォータースタンドを設置していく考えはあるか。

〔総務課長〕 熱中症対策は優先度の高い重要な課題であると再認識している。来庁者には、当面は自動販売機の利用を案内していくが、ウォータースタンドの設置に限定せず、熱中症予防として何が効果的な対策としてできるか、引き続き考えていく。



学校での給水イメージ



## 問 福祉作業所の作業環境改善を

## 答 社会福祉協議会と協議し対応する



菊池靖一 議員

【菊池】 大子町福祉作業所は、今年度から下野宮のデイサービス施設跡地に移転している。その後、4か月が経過して夏の猛暑も体験したので、作業所内の作業環境で改善すべき点などな



移転した大子町福祉作業所

いか。

【福祉課長】 大子町福祉作業所は、社会福祉法人大子町社会福祉協議会が運営を行っている。施設を協議会へ賃貸するにあたり、浴室から作業スペースの改修、トイレの改修、エアコンの増設など、快適に作業ができるよう改修してきた。活動を始めてからトイレの使用頻度の問題や食堂、厨房での暑さ対策など対応が必要になったので、社会福祉協議会において、屋外に仮設トイレを1基、食堂や厨房は、旧大子保育所・旧若草作業所からそれぞれ1台移設設置し対応している。

【菊池】 移設したエアコンの温度が下がらなかったり、表のトイレの中は高温になるなど数件の問題点があるが、よく調査をして改善できないか。

【福祉課長】 建物も経年劣

化等により、修繕等が発生することも予想されている。施設の環境問題と併せて、運営している社会福祉協議会と協議を行い対応を進めたい。

## 木質バイオマス ガス化発電施設の 稼働と契約は

【菊池】 町は、平成27年に森林の温泉に隣接する町有地に木質バイオマスガス発電施設を誘致した。誘致に当たっては、木材の放射能汚染やガス化発電の技術的な難しさなど地元や議会でも取り上げられ議論された経緯がある。その後、発電施設は建設されたが10年が経つ今も稼働していない。稼働できない理由については。

【まちづくり課長】 発電所

の設計上の問題があり、本来の性能が発揮されていない。海外の部品に不具合があるなどの状況で、現在プラント会社に調査を依頼している。まだ、稼働のめどが立っていないと聞いている。

【菊池】 平成28年には町有地が売買されているが、売買時に交わした契約については。

【まちづくり課長】 公有財産売買契約では、土地の売買だけでなく、用途の指定、譲渡転貸の制限、買戻しの特約の条件等も定めていた。

しかし、令和4年に株式会社エジソンパワーにある事業と及びその子会社である大子リニューアブルエナジ

ー株式会社の子会社である南国殖産株式会社に譲渡されたのを受け、町は、令和5年に改めて大子町と南国殖産、大子リニューアブルエナジーの3者で新たに覚書を締結し対応している。

【菊池】 覚書の内容は。

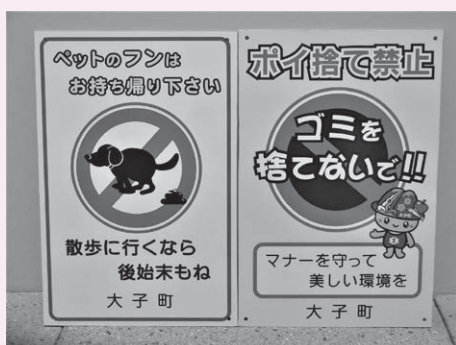
【まちづくり課長】 売買契約の時から10年以内にはバイオマス発電所の用途に供することが出来ない場合に

は、町が土地を買い戻す。固定価格買い取り制度が20年間なので、期間の終了時までには木質バイオマスの用途に供さなければならぬ譲渡転貸の制限、事業廃止後の原状回復等を定めている。

【菊池】 固定価格買い取り制度は始まっているのか。

【まちづくり課長】 現在は、本来の発電能力が発揮できないが法律上は商業運転が稼働したことになるので3年目を迎えるので残りの買取期間は、17年になる。

その他の質問  
ポイ捨て等防止条例施行後の取組は



ポイ捨て等防止の看板



# 議会だより、次の一歩へ

## ～町民とつながる広報を目指して～

広報委員会では、議会だよりをより町民の皆さんにとって身近でわかりやすいものにするため、毎年広報研修を受講しています。研修では、他の市町村議会の取り組みや、講師による専門的な指導があり、伝わる紙面づくりや町民とのつながり方について学んできました。

今後は、研修で学んだことをヒントに、町民の声を紙面に反映するインタビュー企画や一般質問の要点を短い動画で紹介できるような新たな試みなども検討してまいります。いずれも、実現に向けて準備や体制づくりが必要ですが、町民の皆さんとの双方向の広報を目指す第一歩として実現に向けて取り組んでいきます。

また、広報活動の一環として、町民との直接対話の場も重視しています。これまでの「議員活動の報告会」は、「議員と話そう会」へと形を変え、より自由で対話的な場として開催しています。今後は、個人参加型のスタイルも視野に入れ、町民一人ひとりと向き合える機会の充実にも力を入れてまいります。

議会だよりは、町民と議会をつなぐ大切な架け橋です。これからも、皆さんの声に耳を傾けながら、より開かれた議会と、より伝わるわかりやすい広報を目指してまいります。

※実現に向けた検討案の一例イメージ画です。



個人参加型の議員と話そう会  
イメージ画



一般質問ダイジェスト  
イメージ画



町民インタビュー  
イメージ画

—大子っ子の夢、応援しています—

# わくわく わたしの夢



大子中学校3年

かみなが あおい  
神長 葵さん

私の将来の夢は、人と関わる仕事に就くことです。昨年「咲くカフエ」で職場体験をしました。お客様に料理を提供する際、「ありがとう」と感謝される場面がありました。最初のころは緊張していましたが、笑顔で話しかけてもらえたことで人と接することの楽しさや、働くことのやりがいを感じました。そして、店員さん同士での「コミュ

ニケーションがお店の雰囲気をつくっていることを学びました。この経験を通して、私は、人の役に立てるような仕事がしたいと思うようになりました。将来、自分の手で誰かが笑顔になるような仕事に就くために、イベントなどに積極的に参加し、たくさんの人と関わっていききたいと思っています。

## その話、聞かせてください！

議会では「議員と話そう会」を実施する町民グループを募集しています。町や行政に届けたい想いを自由に語ってください。みんなで話し合った意見をもとに議会運営を進めていきます。令和6年度は7団体と実施しました。町民5人以上のグループなら、どなたでも申し込みます。詳細については、議事事務局（72-1115）へお問い合わせください。写真は今年実施した話そう会の様子です。



## FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



## 12月定例会開催予定

- ▽12月3日（水）開会
- ▽4日（木）自宅審議
- ▽5日（金）〃
- ▽6日（土）〃
- ▽7日（日）〃
- ▽8日（月）一般質問
- ▽9日（火）一般質問
- ▽10日（水）一般質問
- ▽11日（木）逐条審議

※詳細は議事事務局にお問い合わせください。

## 大子町議会広報委員会

委員長 川井正成  
副委員長 高村和男  
委員 根川秀子  
委員 飯村厚剛  
委員 大森勝夫  
委員 須藤明

## あとがき

ロボット軍団が人間に反乱を起こすテレビアニメを観て育った私は、「生成AI」に少なからず恐怖心を持っている。そこで議員研修で指導を受け、ようやく使い始めた。ためしに来賓挨拶の作成を指示してみる。あつという間に模範挨拶を表示した。とてもスマートな文章だ。その場のひらめきで語る私の挨拶が野暮に思えてくる。いや、そうだろう。生身の人間臭い挨拶こそ良いはずだ、と私は考えるのです。この誌面の「つぶやき議長」も体臭を感じる文体を心がけています。情熱は汗をとまなう。汗臭くても熱意を持って活動する議会こそ大切なのではないのでしょうか。

（大森 勝夫）